

| 科目コード | 記号 | 科目名 | | |
|--|--|---|--|------|
| 3167 | SG38-BG37 | 社会科学Ⅱ:Social Science Ⅱ | | |
| 教員名 | | 岩元 修一 :IWAMOTO Shuichi | | |
| 学年 | 単位・時間 | 必修・選択 | 授業形態 | 単位種別 |
| 5SB | 1・100分 | 必修 | 講義・前期 | 学修単位 |
| 授業概要 | 本講義では、日本のあり方全般について独自の視点から記されたテキストを素材にして、その内容を読み取り(理解)、文章に整理し(要約)、発表し(報告)、質疑応答を加える(議論)という作業に参加してもらう予定。そのため、授業ではクラスをいくつかの班に分けて報告を行ってもらい評価を行う予定である。 | | | |
| | 到達目標 | | 評価方法 | |
| 1)異なる時代を生きた他者の立場・考え方を理解し説明できること。 2)テキストの著者の立場・考え方を理解し説明できること。 | | 評価方法は、①中間試験、②期末試験、③課題、④小レポート(自学自習の課題)とする。評価配分は、①25%、②5%、③20%、④30%とする。 | | |
| 学習・教育目標 | | (F)③④ | JABEE基準1(1) | (a) |
| 前 期 | | | | |
| 授 業 計 画 | 回 | 項 目 | 内 容 | |
| | 第1 | はじめに | 講義の進め方に関する説明および評価方法および「日本をどのように見るか」について説明する。 | |
| | 第2 | 古代(1) | 「天皇と万葉仮名の語り部」について説明する。 | |
| | 第3 | 古代(2) | 「和漢が並んでいる」を説明する。 | |
| | 第4 | 古代(3)中世(1) | 「神仏習合の不思議」を説明する。 | |
| | 第5 | 中世(2) | 「ウツとウツツの世界」を説明する。 | |
| | 第6 | 中間まとめ | 中間まとめとして理解度の確認を行う。 | |
| | 第7 | 中世(3) | 試験の説明および「主と客と数寄の文化」を説明する。 | |
| | 第8 | 近世(1) | 「徳川社会と日本モデル」を説明する。 | |
| | 第9 | 近世(2) | 「朱子学・陽明学・日本儒学」を説明する。 | |
| | 第10 | 近世(3) | 「古学と国学の挑戦」を説明する。 | |
| | 第11 | 近代(1) | 「二つのJ」に挟まれて」を説明する。 | |
| | 第12 | 近代(2) | 矛盾と葛藤を編集する。 | |
| | 第13 | 近代(3) | 「日本の失敗」を説明する。 | |
| | 第14 | 近代(4) | 「失われた面影を求めて」を説明する。 | |
| 第15 | まとめ | 試験の解説とアンケートを行う。 | | |
| 関連科目 | 本校で学ぶ社会関連科目(現代社会、世界史、倫理など) | | | |
| 教科書 | 松岡正剛『日本という方法』(日本放送出版協会) | | | |
| 参考書 | 講義のなかで説明する。 | | | |
| 授業評価・理解度 | 最後に授業評価アンケートを行う。 | | | |
| 副担当教員 | | | | |
| 備考 | 必ずテキストを事前に読んでおくこと。 | | | |